2024年7月

「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に基づく取組事項及び実施状況

吉備信用金庫

吉備信用金庫は2017年11月に策定した「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に基づき、あらゆる商品・サービスの提供において「お客さま本位の業務運営」に努めています。

お客さまの資産形成支援の取り組みにあたっては、相互扶助の金融機関として、お客さま一人ひとりのニーズとリスク許容度に応じてご提案しております。

今般、「お客さま本位の業務運営」が求められるようになった背景・趣旨に鑑み、投資信託による資産形成の取り組みを中心に取りまとめましたので、以下のとおり公表します。

1. お客さまの最善の利益追求

【アクションプラン】

●お客さまの知識や投資経験、資産の状況、投資目的及びニーズを把握した上で、適切な金融商品を提供します。

●お客さまのライフスタイルやニーズにお応えするため、長期的・安定的な資産形成と資産運用に適した商品をご提案いたします。

【取組事項】

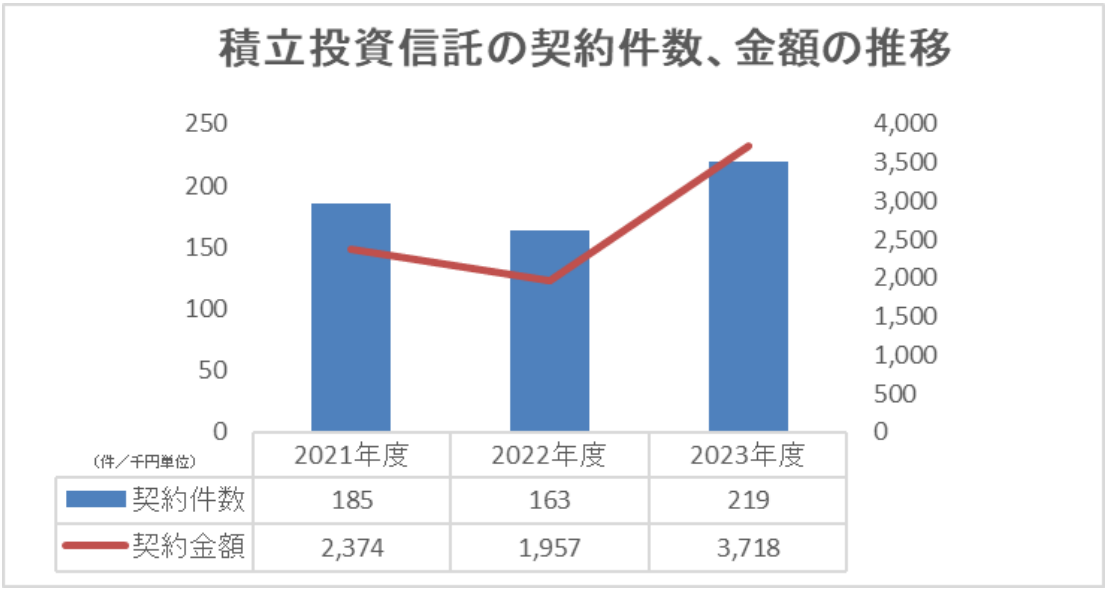
●お客さまのニーズに合った適切な金融商品を提供するため、投資信託のラインナップを幅広くご選択いただけるよう取り揃えています。

〇投資信託ラインナップ（2024年3月末時点）

商品カテゴリー		取扱商品数
債券	国内	0
	海外	1
	内外	1
株式	国内	5
	海外	3
	内外	3
REIT	国内	2
	海外	1
	内外	0
資産複合型		5
合　計		21
うちノーロード		1

【取組事項】
●お客さまのライフスタイルに合わせ、長期的・安定的な資産形成の観点から「定時・定額購入」などを中心に資産の安定的な運用の提案をしています。特に資産形成層のお客さまに対する長期、分散、積み立て型の金融商品・サービスの取り扱いを充実しています。

【実施状況（成果指標）】
●つみたてNISAの取り扱いを開始する以前より（2018年1月から）、積立投資信託の取り扱いを行っています。積立投資信託をご利用いただいているお客さまの数と推移は下記のとおりです。



〇つみたてNISA商品ラインナップ（2024 年 3 月末時点）

商品カテゴリー	取扱商品数
国内株式	2
海外株式	3
資産複合型	1
合　計	6

2. 利益相反の適切な管理

【アクションプラン】
●当金庫が別に定めて公表しております「利益相反管理方針」により、お客さまと利益相反の可能性について正確に把握し、利益相反の可能性がある場合には適切に管理いたします。

【取組事項】
●会議・研修・臨店時等さまざまな機会に利益相反行為について全役職員に周知徹底を図りました。

【実施状況（成果指標）】

●2023年度は、金庫が導入する金融商品・サービスについて、利益相反管理を含めたコンプライアンスにかかる研修を行いました。

3.お客さま本位の情報提供

【アクションプラン】

●商品のご提案に当たっては、適切な説明資料と分かりやすい表現により、リスクなど重要な情報提供を行うなど、丁寧な説明を行います。

●金融商品をお持ちのお客さまには、定期的に運用状況や市況など必要な情報をご提供いたします。

●お客さまにご負担いただく手数料その他の費用について、分かりやすい説明を行います。

【取組事項】

●商品内容・市場動向等を記載した「運用報告書」を決算毎にお客さまへ送付し情報提供を行っています。

●2023年度は資産形成層に向けた資産形成相談会やライフプラン相談会を開催しました。

●年2回の定例アフターフォローを原則訪問し実施しました。

●投資信託のご提案に際しては、商品毎の手数料を一覧で表示したリーフレット「きびしんの投資信託のご案内」を使用して、わかりやすい説明に努めています。

【実施状況（成果指標）】

〇2023年度アフターフォロー実施状況（2024年3月末時点）

	先　数	比　率
実施予定数	616	－
実施済	616	100.0%
未実施	0	0.0%

4.お客さま本位の業務運営のための人材育成

【アクションプラン】

●お客さまへ適切な商品・サービス等の情報提供ができるよう、職員向けの研修の充実に努めます。

●全役職員がお客さま本位の業務運営の取組方針を理解し、実践する人材育成に努めます。

【取組事項】

●窓口係の職員を中心に「コミュニケーション研修」を行い、ライフプランに応じたマネープランの情報提供ができる職員の育成に努めました。
　また、金融商品や投資環境に関する職員の知識の向上を図るため「FP技能士」などの資格取得の奨励・支援を行っています。

●「お客さま本位の業務運営」の役職員への定着と実践に向けた取組みの一環として、全部店の内部管理責任者を対象とした研修を行い、本方針の策定に至る背景・趣旨の説明を行いました。

また、当該研修を受講した内部管理責任者が各営業店にて店内研修を実施し、職員への周知・徹底を図りました。

【実施状況(成果指標)】

〇職員の専門資格取得状況(2024 年 3 月末時点)

	有資格者	職員数	取得率
FP 技能士 2 級	51 名	126 名	40.47%

【投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI】

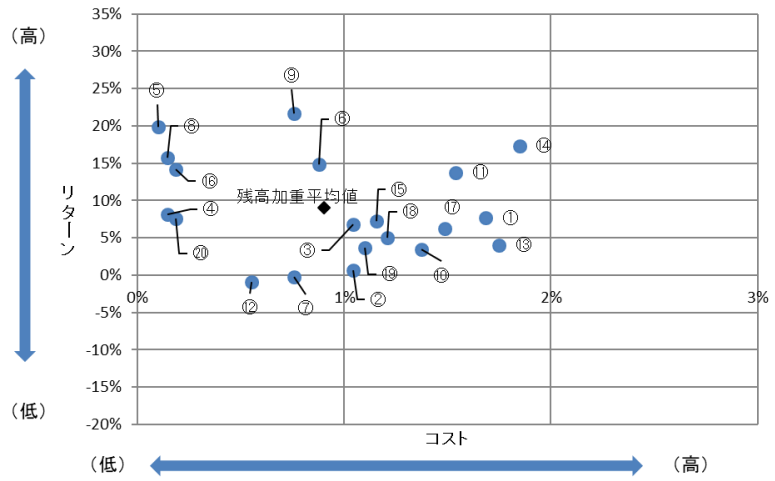
2018年6月に金融庁から「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIについて」お客さまが良質な金融業者を選ぶ上で有益とされる3つの指標が公表されたことから、当金庫における「比較可能な共通KPI」を公表します。

1. 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

・設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄毎に預り残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。

2024年3月末基準

順位	銘柄名	コスト	リターン
1位	新光 US－REIT オープン	1.68%	7.66%
2位	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.05%	0.65%
3位	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.05%	6.82%
4位	たわらノーロード バランス(8資産均等型)	0.14%	8.12%
5位	たわらノーロード 先進国株式	0.10%	19.90%
6位	しんきんインデックスファンド225	0.88%	14.87%
7位	リスク抑制世界8資産バランスファンド	0.76%	−0.21%
8位	たわらノーロード 日経225	0.14%	15.75%
9位	トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	0.76%	21.66%
10位	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.38%	3.47%
11位	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	1.54%	13.74%
12位	しんきん公共債ファンド	0.55%	−0.85%
13位	三井住友・グローバル・リート・オープン	1.75%	4.04%
14位	ダイワ・インド株ファンド	1.85%	17.34%
15位	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	1.16%	7.30%
16位	たわらノーロード TOPIX	0.19%	14.22%
17位	DIAM高格付外債ファンド	1.49%	6.29%
18位	ニッセイ高金利国債券ファンド	1.21%	5.01%
19位	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	1.10%	3.64%
20位	たわらノーロード 新興国株式	0.19%	7.56%



残高加重平均値	コスト	リターン
	0.90%	9.00%

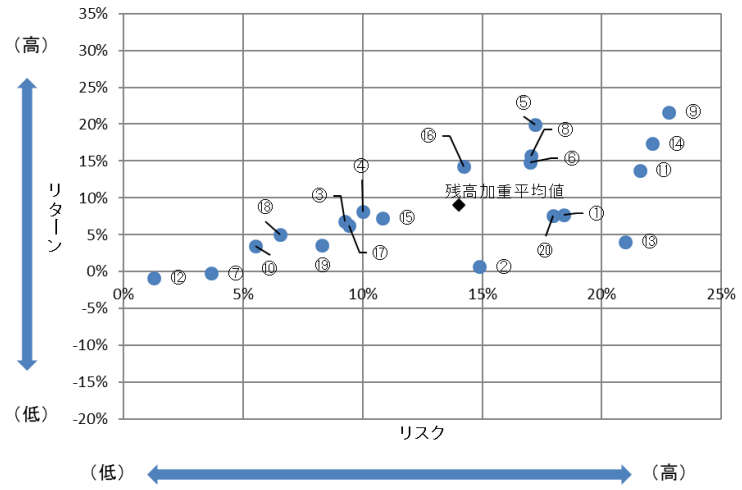
投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン
- ・設定期間5年を超える投資信託の預り残高上位20銘柄
- ・コスト　販売手数料率（消費税込み）÷5+信託報酬（消費税込み）
- ・リターン　過去5年間のトータルリターン（年率換算）

2. 投資信託の預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

・設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄毎に預り残高加重平均のリスクとリターンの関係を示した指標です。

2024年3月末基準

順位	銘柄名	リスク	リターン
1位	新光　US－REIT　オープン	18.42%	7.66%
2位	しんきんJリートオープン（毎月決算型）	14.90%	0.65%
3位	しんきん3資産ファンド（毎月決算型）	9.24%	6.82%
4位	たわらノーロード　バランス（8資産均等型）	10.00%	8.12%
5位	たわらノーロード　先進国株式	17.20%	19.90%
6位	しんきんインデックスファンド225	17.00%	14.87%
7位	リスク抑制世界8資産バランスファンド	3.65%	−0.21%
8位	たわらノーロード　日経225	17.03%	15.75%
9位	トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	22.80%	21.66%
10位	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	5.52%	3.47%
11位	しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	21.59%	13.74%
12位	しんきん公共債ファンド	1.28%	−0.85%
13位	三井住友・グローバル・リート・オープン	21.00%	4.04%
14位	ダイワ・インド株ファンド	22.13%	17.34%
15位	しんきんグローバル6資産ファンド（毎月決算型）	10.84%	7.30%
16位	たわらノーロード　TOPIX	14.23%	14.22%
17位	DIAM高格付外債ファンド	9.43%	6.29%
18位	ニッセイ高金利国債券ファンド	6.53%	5.01%
19位	DIAM高格付インカム・オープン（毎月決算コース）	8.31%	3.64%
20位	たわらノーロード　新興国株式	17.97%	7.56%



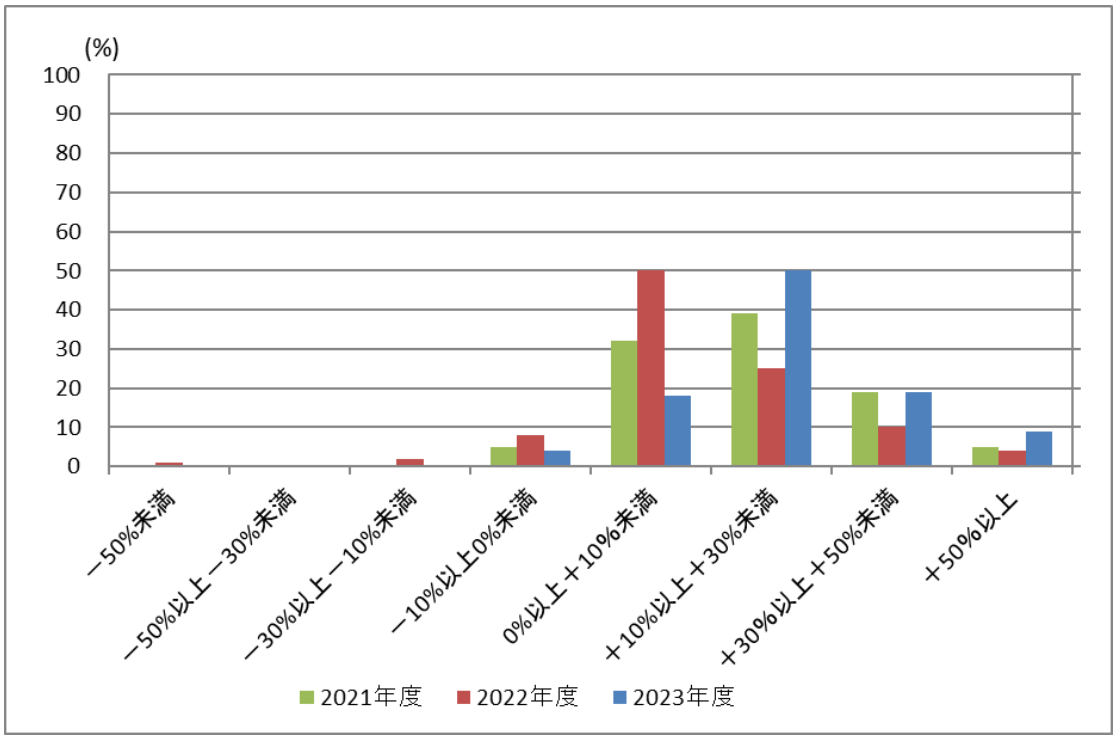
残高加重平均値	リスク	リターン
	14.01%	9.00%

投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン
・設定期間5年を超える投資信託の預り残高上位20銘柄
・リスク　　過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
・リターン　過去5年間のトータルリターン（年率換算）

3. 投資信託の運用損益別顧客比率

お客さまの知識や投資経験、資産の状況、投資目的及びニーズを把握した上で、適切な金融商品を提供しました結果、運用損益率がプラスとなったお客さま比率は94%となりました。

2024年3月末基準



投資信託の運用損益別顧客比率
【運用損益計算の方法】
分子　・基準日時点の「評価金額+累計受取分配金額（税引後）+累計売付金額+累計買付金額（含む消費税込み販売手数料）」
　　・基準日時点までに全部売却・償還された銘柄は対象外
分母　・基準日時点の評価金額
遡及期間　・原則として2003年6月以降の数値を基に算出しています。